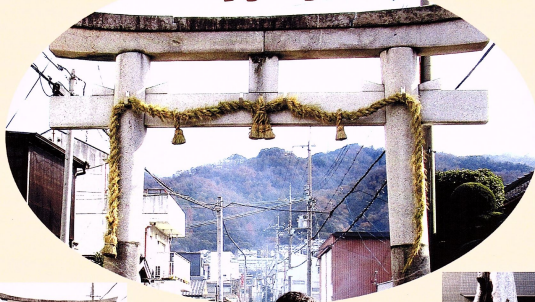


枚岡神社・一の鳥居

注連縄掛け 行司



注連縄掛ける前

完成

2024年12月22日



神木注連縄



文化継承手帳

鳥居自治会

東野昇氏提案により事務局作成

鳥居自治会、注連縄継承事業の概要

枚岡神社の一の鳥居は、220余年前の享和2年(1802年)善根寺村の石工・彦兵衛により建立されました。一の鳥居は現在の本殿(文政9年(1826年)の建立)より古くこの鳥居から枚岡神社までが長い参道となっています。その昔、鳥居から東側に松の馬場と呼ばれていた大きな松の並木がありました。周囲には溜池と水田が広がり稲作が盛んでした。映画のロケ(鞍馬天狗)に使われたと聞いています。

【注連縄に付いて昔からの言い伝え】

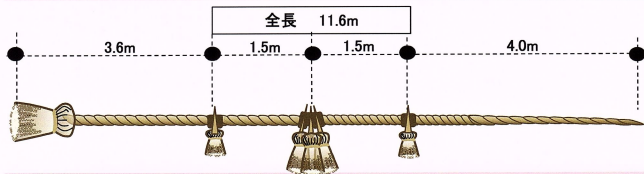
伝聞:東野 昇

昔の人の言い伝えでは、享和二年に建立された「一の鳥居」の「鳥木」と「貫」の間には「額東(がくつか)」があり、この額東には「枚岡神社」と書かれた額が掛けられる予定でしたが何らかの手違いで額が架からないことが判明し、鳥居村の農家の方々により注連縄を架けるための四本の金具が取り付けられました。それ以来、鳥居村の農家では、その年に収穫した稲葉を持ち寄り旧暦の正月に間に合うように鳥居村の有志五～六名で一日がかりで注連縄を作ることになったと記録に残っています。旧正月は、月の満ち欠けの一周期を基にした太陽暦で、現在の太陽暦との差から時代とともに少しずつ日がずれるため、新年を迎えて一月三日に行われるようになりました。枚岡神社「一の鳥居」の宮元として、伝統ある注連縄架年行司を鳥居自治会の年行司として譲り受け、元旦には注連縄の架かった「一の鳥居」で新年を迎えたいとの意見が多く聞かれました。一月三日に行ってきた注連縄行司を初めての試みとして、平成二十四年十二月二十二日に行いました。鳥居に新しい注連縄が架けられ、枚岡神社の宮司さんのお払いが終わると、新年の幸運を願い、宮司さんの「あっぱはー」に続いて全員でお美い行司が行われました。新しく注連縄が架け替えられた「一の鳥居」で新年を迎えるため、今後も、鳥居自治会の年中行事として、注連縄行司を二月に行い、良き伝統、良き伝承は長く後世に残し、伝承者の育成にも努力して行きます。

一の鳥居には、長さ11.6m牛蒡型の注連縄が編まれています。この編み方は左編い左本右末です。社殿から見て、左側が上位(左本)、参拝者から見て、右側が上位(右本)ですが多くの注連縄は右編い右本左末の編み方で、出雲大社など2割程度の神社に見られる少数派の注連縄です。10月の秋郷祭で稚児行列の先頭を社殿から神輿が一の鳥居を通ります。このとき、神輿から見て左側が上位(左本)でなければなりません。したがって、一の鳥居の注連縄は左編いの左本右末で、宮元の鳥居町の男衆で守られてきました。稲作が中心のその昔、秋の収穫を願って牛蒡型注連縄にメの子(雨を表す)を取り付け多くあった溜池を潤せる十分な水を得ることを願っているものと思われます。

自治会ホームページより抜粋

1. 注連縄の形状 【牛蒡型の注連縄】



2. 稲葉集め

毎年、祭りの頃の収穫時に米作者に依頼して稲葉を集めます。

【葉 20束(400把)を準備】



10/9 コメ収穫



10/15 葉集め



自治会館にて
10月から12月まで保管

3. 注連縄作り当日 (2024年12月22日(日)) 曇り

注連縄 : 牛蒡型の注連縄
編み方 : 左編み左本右末

参加者(グループ)

参加人数【 約 50 】人

鳥居自治会(役員)

鳥友会

太鼓台保存会

青年団

子供会

消防団

その他(自治会員・他)

見学者



* 藁たま作り

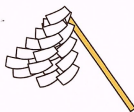
・稲わらを数本束ねて括ります。

・注連縄を編む者から、ストップの声がかかるまで皆で作り続けます。



* 𦵁の子作り

・注連縄とは別の担当者により作ります。





* 神木用注連縄(小)

・松の場の老木(神木)用の注連縄を子供たちと共に作り掛けられます。

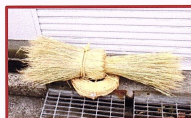


＊牛蒡型注連縄綯い(1)

吊り台組立



括り方



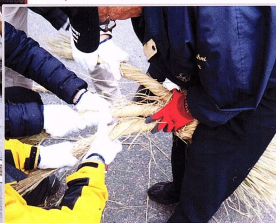
注連縄(上位)の頭部



注連縄綯い始まり



吊り台完了



* 牛蒡型注連縄作り(2)



* 牛蒡型注連縄作り(3)



注連縄出来上がり



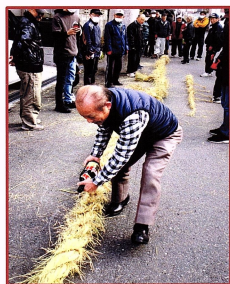
11. 6m注連縄完成



*** 連縄・のの子の組合せ**



*** 連縄完成お清め**



*** 連縄出来上がり記念撮影写真**
吊り上げる前に全員で記念撮影



* 連縄掛け



神津嶽を望む



注連縄掛けは力の勝負
若者の力が必要！！



* お祓い神事



山根禰宜最後の注連縄神事
今年度末で定年とのことです。
有難うございました。

* お笑い神事



* 完成写真(神津嶽を望む)



何時の時代も火の周りには
子供たちが集まります。

・注連縄の残材、不要物の
焼却・片付けを行い周辺清掃
を最後に作業終了となります。

4. 解散

完成後新しい注連縄を眺める。自治会館での挨拶後、弁当を貰って解散帰宅。
過去には完成を祝い自治会館で宴を開催したこともありました。
新型コロナ発生で現在は中止になっております。

翌日に撮影しました



以上

写真提供(井上・清水・橋本)

作成: 鳥居自治会事務局(橋本)

11/11

2024年12月22日(日)

注連縄緋い：鳥居自治会文化事業

皆で力を合わせ作り上げました



作成：鳥居自治会事務局(株本)